○元老院
七月十三日午前第九時開議　法律令制定ノ儀布告案第二讀會

叙任賞勲

○六月一日分
叙従六位
同　正七位勲五等　矢野義徹
同　前田清則
○六月七日分
任海軍々醫少監　從六位勲五等　矢野義徹
同　前田清則
○六月廿二日分
任石川縣警部長　石川縣警部　渡邊佳介
○六月廿一日分
叙從七位　正八位　吉本祐雄

時事新報

運輸交通論

運輸交通ハ文明ノ方便タルノミナラス交通即チ文明ニシテ交通ノ外ニ文明ナシト云フモ可ナリ文明ノ進歩ハ歩々際限ナクシテ其高キヲ厭ハス左レハ運輸交通ノ便モ多々益便ニシテ其多キヲ厭フ可ラス近時ノ文明未タ起ラサルノ時代ニ當テハ歐洲ノ諸國ニ於テモ立國ノ元素ハ專ラ武ヲ以テシテ試ニ某國ノ大小强弱ヲ知ラントスルニモ先ツ其海陸軍ノ數ト政府歳入ノ多寡トヲ問フテ品評ヲ下シタルコトナレ𪜈今ヤ立國ノ元素ハ漸ク性質ヲ改メテ人文ト殖産トノ二者ニ移ラントスルノ時勢ニシテ即チ文明ノ進歩シタル國ハ强國タリ大國タルノ有樣ナレハ其大小强弱ヲ知ラントスルニハ海陸軍ノ數ト政府歳入ノ多寡トニ併セテ其國ニ存スル運輸交通ノ便利如何ヲ聞テ始テ品評ヲ下タス可シ運輸交通即チ國力ト云フモ可ナリ蓋シ政府ノ歳入ナリ又海陸軍ナリ皆國力ヨリ生ス可キ者ナレハナリ例ヘハ亞國ノ海軍ハ英ノ下ニ居リ其陸軍ハ日耳曼ニ及ハサルコト遠シ固ヨリ地理ノ便ニ由テ然ルモノモ多シト雖𪜈此僅々タル海陸軍ヲ以テ國ヲ立テ世界中ニ亞國ヲ評シテ小弱國ト云フモノナキハ何ソヤ亞國ニハ人文殖産ノ盛ナルモノアレハナリ、其運輸交通ノ遠便ナレハナリ、即チ文明開化進歩シタルモノアレハナリ、此文明ノ國力ヲ以テ要用ノ時ニ臨テ海陸軍ヲ作ルコト容易ナレハナリ

左レハ近時ノ文明中ニ在テ一國ヲ立テ世界ノ各國ト進歩ノ鋒ヲ爭ハントスルニ内外ニ運輸交通ノ便ヲ開クノ急要ナルハ爭フ可ラサルノ理由ナラン我皇復タ多辨ヲ費サヽルナリ然ルニ我日本國ニ於テハ開國以來三十年西洋近時ノ文明ヲ採テ國勢大ニ進歩シタリト云フト雖𪜈交通ノ便見ル可キモノナシ陸上ノ鐵道全國ヲ合シテ百里ニ足ラス過般日本鐵道會社ノ擧アリト雖𪜈其進歩モ甚タ徐々タルモノ、如シ鐵道ノ便ナケレハ郵便ノ配達モ甚タ遲クシテ北海道ノ如キ九割人口ノ者ヲ盡ク其四答ヲ得ルニハ一月ヲ費スヲ常トス然ルトキハ其樣ノ人ハ八十日ヲ以テ地球ヲ一周スル

其時代ニ當テ我日本人ハ二小島國ノ時節ニ當テ往復スル船ニ二十日ヲ費ス、文明ノ餘ヲ學ハントスル者ハ一ニ非スヤ陸ヲ離レテ海上ノ態ヲ見ルモ亦斯ノ如シ近來ハ蒸船風帆船ヲ以テ沿海ヲ渡航シテ便利ナリト云フト雖モ其便利ハ唯貴年ニ比シテ少シク便利ナルノミニシテ決シテ交通ノ活發ナルモノト云フ可カラス況ヤ日本海ヲ隔テ西一帯ノ日章旗ヲ見ス四面海ニ渡スル海國ニシテ其海面渡航ノ權柄ヲハ擧テ之ヲ他國人ニ授ルトハ吾人ノ堪ヘト云フ可シ近時ノ文明世界ニ運輸交通ノ便利如何ヲ以テ國ヲ輕重スルノ品評果シテ違フコトナキモノナラハ文明國ノ人民ガ我日本ノ海陸ヲ通覽ノ如何ノ評ヲ下タス可キヤ我輩ハ讀者ト共ニ杵顔スルナキヲ欲スルモ得マカラサルナリ

今一歩ヲ退ケ海外ノ遠航ハ容易ニ着手ス可キニ非ストスルモ内地ノ沿海内海ノ渡航ニ今日ハ尚舊慣日本形ノ船甚タ多シ而テ西洋風ノ新製ハ僅ニ其中ノ幾分タルニ過キス統計年鑑ヲ見ルニ明治六年ヨリ十三年ニ至ル迄ノ西洋形汽船風帆船ノ船數噸數及ヒ其增減ト同八年ヨリ十二年ニ至ルマテノ日本形船ノ有樣左ノ如シ

西洋形商船

年次	蒸汽船 船數	蒸汽船 噸數	風帆船 船數	風帆船 噸數
明治六年	一一〇	二六、〇八八	三六	一八、四八三
同 七年	一一八	二六、一二〇	四一	一九、六五五
同 八年	一四九	四二、三〇四	四四	一八、八三四
同 九年	一五九	四〇、二四八	五一	一八、七九〇
同 十年	一八三	四九、一〇五	七五	一一、六四八
同十一年	一九五	四三、八九九	一二三	一九、六二四
同十二年	一九九	四二、七六三	一七四	二七、五五一
同十三年	一六三	三六、八〇七	一六八	三三、五五九

日本形船

	五百石以上 船數	五百石以上 噸數	五百石未滿 船數	五百石未滿 噸數	合計船數	合計石數
明治八年度	一、五五八	一九、七〇二	二一、二六〇	三、五七七	八五三	
同 九年度	一、四九七	一八、四二二	一九、九一九	三、三九七	一八三	
同 十年度	一、四四六	一七、五一八	一八、九六四	三、二五一	一四二五	
同十一年度	一、五二二	一七、六一四	一九、一三六	三、二三三	一四〇六	
同十二年度	一、五三〇	一七、七五四	一九、二八四	三、三五四	一七五九	

右ノ統計表ニ據レハ兩樣ノ船數噸數及ヒ石數ハ殆ト比較ス可ラサルノ數ニシテ日本ノ海面ハ今日尚日本船ヲ以テ覆フモノト云フモ可ナリ而シテ此日本形ノ船ハ如何ナル性質ノ者ナルヤト尋レハ是船航海ノ擧理トテハ殆ト皆無ニシテ其船体ハ船ノ腹部ハ上ニ突出シタルモノ

造ヲ要スルモノナリトノ「ハ識者ヲ俟タスシテ明サリ今日ノ戰爭ニ弓矢鉄鋼ノ用ニ育ラサルハ何ソヤ火器ノ發明以來攻防ノ用ニ適セサレハナリ西洋理學ノ原則ニ基キ造船航海ノ術ヲ工風シテ又蒸氣ノ用法ヲ[illegible]上ハ日[illegible]ノ航海ニ用ユ可ラサルハ弓[illegible]ノ戰爭ニ用ニ可ラサルニ異ナラス我日本ニ於[illegible]弓矢鉄鋼ノ不利ナルハ疾ク之ヲ悟リテ之ヲ廢棄シ[illegible]本邦ニ於テ廢棄セサルノ理アランヤ意テ飛ク[illegible]ノ結果ノ如キ[illegible]メサル可ラサルナリ偶リ日本船[illegible]ナラ[illegible]西洋形[illegible]ニモ怪シム可キモノ甚タ少ナカラス西洋船ノ新ク機行スルニ從テ不學輕躁ノ徒カ一時其風ニ靡キ僅ニ資本ヲ得テ無理ニ大小ノ船ヲ造リ外形ハ西洋製ニ似タルモ其實ハ脆劣ニシテ恐ル可キノ少ナカラス[illegible]外又ハ各地方ノ河々ニ於テ破船ノ[illegible]常[illegible]ナリ現今全國ニアル西洋形ノ船[illegible]ヲ其[illegible]ノ用ヲ呼ラサルモノナランカ[illegible]云ヘ可シ是亦改良ノ法ヲ求メサル可ラ[illegible]

（未完）

○參謀本部　臨幸　兼て前號へ記し奉りし如く昨十一日陸軍參謀本部へ臨幸遊はされし次第を承はるに聖上よは同日午前十時三十分赤坂假皇居御出門喰違ひより麹町通りを南へ御順路を經て陸軍參謀本部へ着御在らせらる當日の御陪乘には東田侍從長供奉れ[illegible]には兩伏見宮、[illegible]川宮、三條、岩倉の兩大臣、山[illegible]參謀にて參謀本部次長曾我[illegible]校の方々い同部表門ある御[illegible]ふ左側に整列せし陸軍樂隊奏樂[illegible]將御先導よて　聖上よは樓上の玉座へ着せ給ひ[illegible]を献せ是よりて各將校へ拜謁仰付ふれ畢て次長再び御先導新築れ各室を天覽在らせらるまた元の玉座よ着せ給ひ同所よ於て午餐を召上らる此内陸軍樂隊は玉座前面に整列し奏調の春[illegible]二下り等の諸曲を奏ス午後三時[illegible]本日は臨幸と新築落成を天覽在ふ[illegible]幸にして開場式執行に臨幸あるよ[illegible]

[illegible]行れ[illegible]より今度育山御所よ[illegible]品は先づ悉く豫防藥と散[illegible]して各掛へ配藥せらるゝあとよ成れ[illegible]

○[illegible]　天皇陛下よ[illegible]王へ[illegible]賜ふ[illegible]本年十月一日[illegible]小[illegible]不日[illegible]

[illegible]一昨日海[illegible]名い[illegible]組

○府知事任定　書知府楊田君逝去せふれしより未ざ數日ならざるよ後任の撰甲乙取々よて互よ議論を逞ふし雖あらんと評しわへるか世人れ架空と犬に進ふ[illegible]以盡々内閣書記官長井上毅君と其筋よ於て既に内決さるを由に聞及たり果して然るや

○饗宴　河村海軍卿よ昨日延遊館を拜借し同省の内外諸數員一同を招き盛なる饗宴を張られし由

○大日本水産博覽會　明十六年開設せらる水産博覽會場い上野公園地内と議決され右規則も既よ過半脱稿せし由に聞く

○横濱正金銀行　一昨十日は横濱正金銀行の上半季株主總會あり午後二時ヶ該行樓上にて開會半季報告を了りさる後頭取中村道太君く該行設立以來の成行と述へ大藏省い該行株主の第一よして亦花主れ第一よ立つものあり今該行の爲を計るに同君ケ當職を辭すると甚ざ肝要ありと思考し且つ一身上止を御さる都合あるを以て今より斷然辭職致すの旨演説あり會員一同は辭職れ理由を聞うんといひ且つ失望歎惜の至ありとて種々辭職を止めされども到底承諾あかりしゆゑ不日臨時總會を催し該行取締役の補充を爲し後任の頭取を定むるまとあるべし

○教導團生徒　陸軍教導團生徒の暑中練兵及ひ修學は午前六時より同十一時牟苑よ去て一週間に二度の復習をなすとそあれり

○陸景卿祭典　本月廿六日ゑ小早川隆景卿れ正忌日に當るヶ以て當日い高輪の同家邸内に於て祭奠を執行され有志者をして參拜せしめらるゝと云ふ

○神戸改進黨　神戸にても警察署ヶ兵庫縣立憲改進黨幹事長鹿嶋秀麿氏を呼出し常例の事問ありし末該黨も一の政談社と認定するよ付集會條例第二條よ由り屆出を爲す可しと申渡さをけれ[illegible]直に請書を差出さるを以て[illegible]

○鹿兒島演説會　東京交詢社より九州社員訪問の爲め出張ありし牛塲卓造本多孫四郎の兩君い去月廿一日鹿兒島へ着せられ鹿兒島演説會々員諸君い兩氏の來廳を好機會と為大演説を企謀せふれしに巡回委員牛塲卓造本多孫四郎の兩君も之を賛成せらるを以て彌六月廿五日上町劇場よ於て相催はす事よ決さるを以て會主牛塲卓造は二十二日を以て右の趣を鹿兒島警察署ヶ屆出たり尤集會條例の制限等輔[illegible]れたる近日の事あれ[illegible]士諤氏も演説[illegible]十一日[illegible]日[illegible]

[illegible]る明[illegible]を裏せられしよ警察署に於てそ以て[illegible]

[illegible]せられす[illegible]明[illegible]演説する[illegible]りよ相[illegible]

[illegible]を命せらるとしと聞く

[illegible]き官を廢せふる時よ專社の矢野可宗君ケ出暑せしが此遠しに違よて甚よ[illegible]し元來文章と言語とと其義異なふする能はす特に時間も限りあ[illegible]此度御聽可相成樣再三懇願せし[illegible]りしを以て止を得す一旦退署し[illegible]諸君の宿所を訪せ廻りまも大概[illegible]るを得ち陸方おけれと貴手紙お[illegible]來を報進し且懇に細密なる説明[illegible]を通ま置きしと斯る次第あれ[illegible]れしは明朝よ至りしもありしと[illegible]

[illegible]正ノ自由（本多孫四郎）改正集會條例ヲ[illegible]（折田兼至）爲政家深ク思ハサル[illegible]否有否（元吉秀三郎）時ニ遵フ者[illegible]治思想ノ養育ハ果シテ知識ノ發達[illegible]明）何故ニ行政處分ニハ説明ヲ要[illegible]省）の七君にて我國將來ノ福祉[illegible]在リ（牛塲卓造）再ビ集會條例ヲ[illegible]ヲ望ム（岩崎信堯）の四君は説明[illegible]レ故よ受理せふれさるしと偖[illegible]村矢野兩君の提出に係る二題を[illegible]て他の宜題は聽可難致候との指[illegible]り演者諸君は此指令を見て驚愕[illegible]して大よ笑て曰く所矣尚ほ學術[illegible]るなりと先是鎌田榮吉宮崎嘉國[illegible]場の學事談を演せふるとん事を以[illegible]を得るを以て都て演者は十一氏[illegible]氣よて辭せふるとしを以て學術演[illegible]よて即ち會社論（元吉秀三郎）人[illegible]國直忠）言語文章一致せサル可ラ[illegible]論（本多孫四郎）自由ノ説（岩崎信[illegible]川省）教育論（鎌田榮吉）學者ノ[illegible]至）れ八君い學事談を演せふれ[illegible]しが故にやを平日の技倆よ比[illegible]わふざる樣ありき當日は二週餘[illegible]人れ心も何とおく勇み立ちし摸[illegible]新聞の休刊中よ際し殊に多卒の[illegible]聽人は一千二三百名よ過ぎざる[illegible]一時より上町劇場よ於て政談大[illegible]席貴及演題い（牛塲卓造君）將來[illegible]性質奈何ニ在リ（折田兼至君）不[illegible]貴忠君）政黨ノ眞偽ヲ判斷スルノ[illegible]法律ノ外ニ人ヲ求メ[illegible]（山川省君）服從ノ[illegible]驛上治之君（矢野可宗君）服從ノ[illegible]